

公開講座「家族支援の実践実技講座」

家族成員間での問題解決力を高める支援の理論と技術の習得は、医療、福祉、保健、教育、司法分野に関わる専門家に求められる一つの重要なテーマとなっています。本講座では、家族を中心とした少人数の対人関係システムの変容を実現する最先端の支援理論と洗練された技法論（質問法）を学習する機会を提供します。本講座を受講することで、受講者の皆様の日常の実践のリフレクションが促され、現在直面されている困難事例への見立てと対処法について新しい視点を得ることができます。なお、連続講座ですが、どちらかのキャンパスの日程のみの参加も可能です。内容は毎年異なりますので、再受講も可能です。本講座修了者で、継続学習の希望者には、その機会も提供します。

回	日 時	会 場	内 容
1	7月9日（日） 10：00～16：00	県立広島大学 三原キャンパス （三原市学園町 1番1号）	「家族支援のための基礎理論と技法」 家族構成員を含む日常的な対人関係をシステムとして捉える視点を学びます。さらに、日常のコミュニケーション過程で生じる問題とその解決法について、その変容の原理、変容手順、そして必須の循環的質問技法について学びます。
2	7月16日（日） 10：00～16：00		「家族支援の実際1」 1回目の復習を行います。その上で、困難事例に対し、実際の家族支援の困難事例を取り上げ、問題の評定、介入計画、支援過程の実際を学びます。支援過程で用いる技法の使用法の実際についても議論を深めます。受講者によるロールプレイを通して、循環的質問法の使用についての理解を深めます。
3	7月23日（日） 10：00～16：00	県立広島大学 広島キャンパス （広島市南区宇品 東一丁目1番71号）	「家族支援のための変容理論と技法」 対人関係をシステムで捉える視点の復習に加え、システム内で生じている悪循環過程を変容していく理論について学びます。困難事例を取り上げ、問題の評定、介入計画、支援過程での技法使用の実際について学びます。受講者は、ロールプレイを通して、変化を起こす循環的質問法の習得を目指します。
4	7月30日（日） 10：00～16：00		「家族支援の実際2」 1回目～3回目までの内容の総復習を行います。特に質問法の使用について詳しく学びます。これまでの回で取り上げていない分野での実践事例を題材に、受講者による変容計画の立案、その計画に基づく循環的質問法を用いた面接のロールプレイを通して、受講者の実践力の向上を目指します。

※昼休憩1時間を含みますので、各自で昼食をご準備ください。

- ◆講 師： 県立広島大学保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 大下由美
- ◆受講対象者： 家族臨床に携わっている対人支援の専門家
- ◆募集人員： 10名（先着順）
- ◆受講料： 8,200円（ただし、1会場のみ受講の場合は6,200円）
- ◆修了証： 希望者に交付
- ◆申込方法： 公開講座申込書（別紙）をご記入いただき、返信用封筒[※]を同封のうえ、下記へお送りください。
 ※返信用封筒（長形3号：横120mm×縦235mm）に82円切手を貼付してください。
 申込み締切後、6月下旬頃に返信用封筒にて、受講案内と受講料振込案内を送付します。
 定員に達し、受講できない場合は別途お知らせします。
- ◆申込締切： 平成29年6月20日（火）必着
- ◆申込・問合せ先： 〒723-0053 三原市学園町1番1号 県立広島大学三原地域連携センター
 公開講座「家族支援の実践実技講座」係
 TEL：0848-60-1200（直通） 0848-60-1120（代表）
 E-mail：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp
- ◆主 催： 県立広島大学三原地域連携センター

受講番号 (区分コードNo)

平成29年度 県立広島大学 公開講座 申込書

講座名	公開講座「家族支援の実践実技講座」
受講希望会場	※受講を希望する会場に○印をご記入ください。 両キャンパス ・ 広島キャンパスのみ ・ 三原キャンパスのみ
修了証交付希望の有無	該当する方に☑印をお付けください。 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
ふりがな 名前	
現住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
E-mail	
職種	
所属先	

*受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。

<主催：県立広島大学三原地域連携センター>